

議長定例記者会見 会見録

日時：平成29年12月22日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 発表事項

平成29年三重県議会10大ニュースの発表について

2 質疑項目

平成29年三重県議会10大ニュースの発表について

政務活動費の後払いについて

選挙区調査特別委員会について

平成29年を振り返っての感想

選挙区調査特別委員会について

1 発表事項

平成29年三重県議会10大ニュースの発表について

(議長)おはようございます。ただ今から、12月の議長定例記者会見を開催いたします。本日の発表事項は、平成29年三重県議会10大ニュースについてであります。お手元の資料をご覧ください。三重県議会10大ニュースは、県議会の取り組み状況を広く発信して、県議会への関心を持っていただき、参加意識を高めていただくために、県民参加の手法を活用して選定を行っております。選定結果は、お手元の資料に記載の10項目です。選定にあたっては、資料2ページの投票結果にありますとおり、ホームページ閲覧者と県議会傍聴者、e-モニター、議員の得票数などを参考に、副議長とも相談の上、選定を行いました。資料1ページに記載の選定させていただいた10項目を改めて見ると、手話通訳の導入といった昨年議員提出条例として制定した三重県手話言語条例に関わる取り組みが2項目、今日的な問題に対応した特別委員会の設置が2項目、平和のつどいや北朝鮮への抗議決議といった平和に関する取り組みが2項目など、ある意味今年を代表する取り組みがバランスよく入っていたなという印象です。発表事項としては以上のとおりですが、今年も皆様方には大変お世話になり、誠にありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願いたします。私からは、以上です。

2 質疑応答

平成29年三重県議会10大ニュースの発表について

(質問)傍聴者とかホームページの投票者とか、この数についてはどう思いま

すか。

(議長) ホームページ閲覧者等の投票者数は57人、e-モニターが749人、議員は49人全員が投票しています。

(質問) e-モニター以外の57は人数的にどうお感じでしょうか。

(議長) 傍聴者をご案内のとおりそんなに多くはありませんので、三重県議会のホームページを見ていただいている方の中で57ですから、もう少し多くてもいいなあと思いますね。来年はもっと増えることを期待します。

(質問) 募集前にですね、「議長に個人的に思い入れのあるようなものは？」と聞いたら、「募集の前なので、差し控えさせていただく」ということだったんですけど、改めて、今、これ結果出ていますので、踏まえて、議長としていかがお考えですか。

(議長) 私はやっぱり、二つのプロジェクトですよね。残念ながら選外です。

(質問) 世間の注目とかですね、そもそも政務活動費の後払いについては、世論からの心配であったりだとか、懸念に配慮してということで、ずっと議論されていたと思うんですけど、結果的に世論からの注目というのが、この重大ニュースからは外れてしまったという点についてはいかが思われますか。

(議長) 後払いの方はある面で議員の中でも意見が分かれたので、議員の投票率が低いのは仕方がないかなと思ってはいたんですけども、e-モニターや閲覧の方々の方もあまり良い数字ではありませんでしたので、そういった意味では、先ほど質問にありましたように、インターネットの公表については入るんですけども、ここの部分は入らなかったのは少し私自身は残念ですね。ただ、後払いはああいう形になりましたけれども、もう一つの方は、プロジェクトの方で前向きにご議論いただいておりますので、そのことを期待を持ちながら推移を見守っていききたいなとは思っています。この結果に一喜一憂することなく、議会改革は進めていかなければならないと思っていますので。

(質問) 先ほど出た後払いのプロジェクトとそれから昨日選挙区の特別委員会が結局結論に至らずということで、相次いで終わってしまいましたけど、どちらも議長、諮問したりとか、前の委員長を務められたりとか、関わりのあった事項なんですけども、そのことについて、思いというか、考えは。

政務活動費の後払いについて

(議長)後払いについては、先ほども少し触れさせていただきましたけれども、やはり所信表明で申し上げたことでありまして、期待を持って推移を見守っておりました。ただ、残念ながら議員の責任においてやればいいことだとか、それから、事務が煩雑化するとか、それから、議会改革に資さないのではないかというご指摘などがあって、結果としては平行線をたどり、まとまらなかったというふうにプロジェクトの方で集約をされましたので、先日20日の代表者会議ですか、その報告を受けて、この問題については断念し、現行の制度を引き続き行うという確認をさせていただいたところでございます。私自身としては、提案した者でございますから、非常に残念に思っています。

選挙区調査特別委員会について

(議長)もう一つの選挙区についてですけれども、非常に私の委員長時代、そして今年三谷委員長、2か年に渡ってご議論をいただいたそれぞれの委員の皆様方にはまずご議論いただいたことに対して、感謝を申し上げたいというふうに思っています。ただ、ずっと経緯を聞いておる中で平行線がずいぶん続きました。そうした中では、この結論は私の一年前の肌感覚も含めて、やむを得ないかなというふうには感じています。

(質問)これ今後代表者会議とかで報告されると思うんですけど、もうこれについての進め方とかは特に。

(議長)おそらく年が変わってから正副委員長案がご議論されて、その結果を代表者会議へご報告いただく。もちろん代表者会議で設置をして諮問をしたんですから、当然ご報告いただくという段取りになろうかと思えます。その際に、それについての議論は、代表者会議で報告を受けた内容に応じて議論をさせていただくという段取りになるのではないかと思います。

平成29年を振り返っての感想

(質問)今年の記者会見は今日が最後ということになりますか。

(議長)そうですね。

(質問)改めて今年一年、議長として就任されてから振り返ってですね、一言いただきたいのと、来年先ほど議会改革の話がありましたけれども、来年どのように進めていかれるのかというご意見ください。

(議長) 今年も結構いろんなことがあったなというふうに思っています。10大ニュースの中にそれが多く反映されているとは感じていますけども、例えば手話通訳を導入しました。これは手話言語条例を昨年入れた流れの大きなひとつですし、そしてその流れの延長ではありませんけれども、今回障がい者差別解消条例に向けた特別委員会を設置してご議論をいただいているということも、私にとっては思い出深いものではありませんし、そして11月の定例会議で議論がありました、台風ですね。私も防災に関心をずっと持ってきた一人ですから、この台風についての議論というものについても印象深く思っています。あと、今年の漢字が「北」というふうに、いわゆる、北朝鮮の軍事的脅威が非常に高まってくる中で、三重県議会としては平和のつどいに協力をさせていただいて高校生にも参加していただき、平和の大切さを発信できたということも思い出深い1つでございます。あと、数年来、子ども医療費の現物支給についてもずっと、議会として多くの方が要望してきたことがようやく議論の俎上に載り始めたということも嬉しく思っている、私流の県政の中の課題の思い出深いものといえばそういうようなものが挙げられると思います。私自身の議長の感想としましては、このプレッシャーを感じる定例記者会見を始め、多くの経験、場を持たしていただいて、幅広くたくさんのことを学ばしていただいた期間であったなというふうに思っておりますので、年が明けましても変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(質問) 来年はいかがですかね。具体的に何か。今年は政務活動費の後払いというのを掲げられて、議論を進めてこられましたけど、来年は具体的にどのような改革に着手したいとか、取り組みを進められたいという思いは今ございますか。

(議長) 提案したものが折れましたので、餅とお酒を飲みながら正月考えさせてもらいます。

選挙区調査特別委員会について

(質問) 議員定数に関して結論が出ずに議論が終結するということになったんですけども、議長として、今後どういう形になるのが望ましいかなというふうに思われますでしょうか。

(議長) 来年の4月がちょうど選挙の1年前です。今回の特別委員会でも周知期間ということに重きをおいて、1年前という話で議論が進められてきたと思っています。ということは、年が明けますと数ヶ月の間ですので、こういった形

で議論をさせるかは、ちょっと私が議論をリードしていくと問題だというふうに思っておりますので、議員の皆さまの議論を見守っていきたいというふうに思っております。

(以 上) 10時44分 終了